

富山大学 学報



(題字 大井信一 学長)

第297号

目 次

関 係 法 令.....2	学位取得者.....21
諸 会 議.....2	昭和63年度文部省北陸地区共同事業体育大会.....22
学 事.....3	学内レクリエーション 〈ソフトボール大会〉.....22
昭和64年度富山大学入学者選抜に関する要項を 発表.....3	〈釣大会〉.....23
昭和63年度民間等との共同研究一覧.....19	インドネシア国立ハサヌディン大学長の来学.....23
人 事 異 動.....20	中国秦皇島市友好都市工作団の来学.....23
学 内 諸 報.....20	職 員 消 息.....24
海外渡航者.....20	主 要 行 事.....24

関 係 法 令

規 則

○ 人事院規則 9-17 (俸給の特別調整額)
の一部を改正する人事院規則 (人事院 9
-17-19)

7・1

○ 人事院規則 9-55 (特別勤務手当等) の
一部を改正する人事院規則 (同 9-55-
11)

7・1

諸 会 議

昭和63年度第 8 回補導協議会 (7 月 4 日)

(審議事項)

(1) 黒田講堂の改築に伴う諸問題について

昭和63年度第 3 回附属図書館商議会 (7 月 7 日)

(審議事項)

(1) 昭和63年度図書購入費配分について

(2) 学外者に対する館外貸出基準について

昭和63年度第 6 回学寮補導委員会 (7 月 8 日)

(審議事項)

(1) 寄宿料の改定問題について

昭和63年度第 9 回補導協議会 (7 月 11 日)

(審議事項)

(1) 黒田講堂の改築に伴う諸問題について

昭和63年度第 5 回入学試験管理委員会・第 5 回入学者

選抜方法検討委員会合同委員会 (7 月 12 日)

(審議事項)

(1) 昭和64年度入学試験問題作成委員について

(2) 昭和64年度富山大学学生募集要項(案)について

(3) 新テスト (仮称) について

昭和63年度第 5 回評議会 (7 月 12 日)

(議 題)

(1) 黒田講堂改築に係る対応について

昭和63年度第 2 回トリチウム科学センター運営委員会

(7 月 20 日)

(審議事項)

(1) 昭和62年度運営費決算書(案)について

(2) 昭和63年度運営費予算書(案)について

昭和63年度第 6 回評議会 (7 月 22 日)

(審議事項)

(1) 臨時教育審議会答申で提言されたテスト (いわ
ゆる新テスト) への参加の可否について

昭和63年度第 3 回事務協議会 (7 月 27 日)

(議 題)

(1) 当面の諸問題について

◎ 退庁，退室の際には，戸締りの徹底・電気，ガスの消し忘れ，タバコの吸殻の後始末に十分注意し，盗難の防止・火災の予防に心がけましょう!!

◎ 電気，ガス，水の省エネ・省資源に協力しましょう!!

◎ 構内での自動車等の運転は，教育・研究に支障を来さないよう安全運転に努め定められた交通方法，歩行者の安全及び騒音防止に努めましょう!!

学 事

昭和64年度富山大学入学者選抜に関する要項を発表

本学は，昭和64年度富山大学入学者選抜に関する要項を7月11日(月)に次のとおり発表しました。

昭和63年度との主な相違点は

- ① 人文学部の帰国子女特別選抜において，出願資格を一部変更したこと。
- ② 教育学部においては，情報教育課程の設置に伴い，所要の整備を行うとともに検査内容を一部変更したこと，並びに美術実技の検査内容等を一部変更したこと。
- ③ 経済学部の特選入学，帰国子女・社会人特別選抜

において，選抜期日を統一したこと。

- ④ 理学部の数学科において，帰国子女特別選抜を実施することとしたこと，及び地球科学科において，学力検査実施教科・科目を一部変更したこと。
- ⑤ 工学部の全学科において，推薦入学を実施することとしたこと。

なお，第2次の学力検査等の日程，試験場及び出願手続等の細目を記載した学生募集要項については，本年10月末頃に発表する予定です。

1. 学部・学科等の内容及び入学定員

学 部	学 科 ・ 課 程	入 学 定 員	専 攻 ， 講 座 又 は 学 科 目	
人文学部	人 文 学 科	95	履修コース	哲学，日本史学，東洋史学，西洋史学，考古学，人文地理学，文化人類学，言語学，文化構造論
	語 学 文 学 科	95		国語国文学，朝鮮語朝鮮文学，中国語中国文学，英語英米文学，ドイツ語ドイツ文学，ロシア語ロシア文学，比較文学
教育学部	小学校教員養成課程	100	専攻教科	国語，社会，数学，理科，音楽，図画工作，体育，家庭，教育学，教育心理学
	中学校教員養成課程	50		国語，社会，数学，理科，音楽，美術，保健体育，家庭，技術，英語
	養護学校教員養成課程	20		特殊教育
	幼稚園教員養成課程	30		幼稚園教育
	情報教育課程	40	コース	教育情報，環境情報
経済学部	昼コ 間 主ス	経 済 学 科	144	理論経済学，比較経済論，政策科学，応用経済学
		経 営 学 科	124	経営学，応用経営，管理科学
		経 営 法 学 科	102	基礎法，民事法，企業関係法
	夜コ 間 主ス	経 済 学 科	20	理論経済学，比較経済論，政策科学，応用経済学
		経 営 学 科	20	経営学，応用経営，管理科学
		経 営 法 学 科	20	基礎法，民事法，企業関係法
理学部	数 学 科	43	代数学及び幾何学，解析学，数理統計学，応用解析学及び電子計算機論	
	物 理 学 科	47	固体物理学，量子物理学，結晶物理学，電波物理学，レーザー物理学	
	化 学 科	43	物理化学，構造化学，分析化学，有機化学，天然物化学	
	生 物 学 科	35	形態学，生理学，細胞生物学，環境生物学	
	地 球 科 学 科	32	地殻構造学，地殻進化学，陸水学，雪水学	
工学部	電 気 工 学 科	56	電気理論，電気機器学，電力工学，通信工学，制御工学	
	工 業 化 学 科	50	有機工業化学，有機合成化学，無機工業化学，応用物理化学，環境化学	
	金 属 工 学 科	43	金属材料学，金属加工学，鉄冶金学，非鉄冶金学	
	機 械 工 学 科	56	材料力学，機械力学，流体工学，熱工学，動力熱工学	
	生 産 機 械 工 学 科	45	切削加工，工業計測，塑性加工，制御機器	
	化 学 工 学 科	46	反応工学，拡散単位操作，機械の単位操作，輸送現象	
	電 子 工 学 科	46	基礎電子工学，応用電子工学，電子素子工学，電子回路工学	
	共 通 講 座	—	応用物理学，応用数学，情報処理	
合 計		1,402		

2. 入学者選抜方法等，第2次の学力検査実施教科・科目及び共通第1次学力試験の受験を要する教科等

別表 I・II・IIIのとおり

なお，推薦入学者の選抜方法，帰国女子・社会人等の特別選抜方法については別表IV・V・VI参照のこと。

3. 学生募集要項（細目）の発表

募集人員，出願手続・期日，第2次の学力検査等の実施期日，試験場等の細目を記載した学生募集要項は，10月末頃に発表の予定である。

ただし，推薦入学，帰国子女・社会人特別選抜（共通第1次学力試験を課さない選抜）学生募集要項は9月下旬頃に発表する予定である。

郵送にて募集要項を請求する場合は，本要項の6.募集要項の請求方法を参照すること。

4. 共通第1次学力試験及び第2次の学力検査の配点

学部(学科・課程) 教科等		区 分	国語	社会	数学	理科	外国語	実技検査	小論文	小計	合計
人文学部		共通第1次 第2次	200 200	100	200	100	200 200			800 400	1,200
教育学部	小学校教員養成課程 養護学校教員養成課程 幼稚園教員養成課程	共通第1次 第2次	200 (200)	100	200 (200)	100	200 (200)	200		800 400	1,200
	中学校教員養成課程 (国語，社会，英語) 専攻	共通第1次 第2次	200 (400)	100	200	100	200 (400)			800 400	1,200
	中学校教員養成課程 (数学，理科，家庭) 技術専攻	共通第1次 第2次	200	100	200 (400)	100	200 (400)			800 400	1,200
	中学校教員養成課程 (音楽，美術， 保健体育専攻)	共通第1次 第2次	200	100	200	100	200	400		800 400	1,200
	情報教育課程	共通第1次 第2次	200 (400)	100	200 (400)	100	200 (400)			800 400	1,200
	経済学部	経済学科，経営学科， 経営法学科 (昼間主コース)	共通第1次 第2次	100	50	100 (300)	50	100 (300)			400 300
	経済学科，経営学科， 経営法学科 (夜間主コース)	共通第1次 第2次	200	100	200	100	200			800 —	800
理学部	数 学 科	共通第1次 第2次	200		200 400	100	200			700 400	1,100
	物 理 学 科	共通第1次 第2次	200	100	200 200	100 400	200			800 600	1,400
	化 学 科	共通第1次 第2次	200	100	200 200	100 200	200			800 400	1,200
	生 物 学 科	共通第1次 第2次	200	100	200	100 400	200		400	800 800	1,600
	地 球 学 科	共通第1次 第2次	200	100	200 (200)	100 200	200 (200)			800 400	1,200
工 学 部		共通第1次 第2次	100		100 200	100 200	100			400 400	800

(注) () 内は選択教科を示す。

5. 定員一部留保第2次募集の配点

学部・学科	共通第1次学力試験					第2次の 学力検査	合 計
	国語	社会	数学	理科	外国語		
理学部物理学科	200点	100点	400点	200点	200点		1,100点

別 表 I

昭和64年度富山大学入学者選抜方法等

選抜方法等 学部・学科名		第 2 次 の 学 力 検 査 等						推 薦			
		第 2 次 の学力 検査を 課す	実技検査等			2 段 階 選 抜			入学定員の一部分について、出身 学力検査を免除し調査書を主な		
			実技検査を課する	面接 を行う	小論文 を課す	主として、調査書の内容と共通 第1次学力試験の成績により第 1段階の選抜を行い、その合格 者について更に必要な検査等 を行う	第1段階の選抜 による合格者数		第2次学力 検査を免除 し、共通第 1次学力試 験を課する	第2次学力 検査を免除 し、共通第 1次学力試 験をも免除 する	実
定員に 対する 倍率	その他	第2次学力 検査を免除 し、共通第 1次学力試 験を課する	第2次学力 検査を免除 し、共通第 1次学力試 験をも免除 する	実技検査を課する							
人	文 学 部	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
教 育 学 部	小学校教員養成課程 養護学校教員養成課程 幼稚園教員養成課程	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
	中学校教員養成課程 (国語，社会，数学， 理科，家庭，技術， 英語専攻)	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	中学校教員養成課程 (音楽，美術， 保健体育専攻)	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×
	情報教育課程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
経 済 学 部	経済学科，経営学科， 経営法学科 (昼間主コース)	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×
	経済学科，経営学科， 経営法学科 (夜間主コース)	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
理 学 部	数 学 科 化 学 科 地 球 学 科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	物 理 学 科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	生 物 学 科	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×
工 学 部		○	×	×	×	×	×	×	×	○	×

- 備 考
1. 調査書に㊤標示を希望する。(入学者選抜方法の研究資料として利用するため。)
 2. 理学部物理学科の定員一部留保第2次募集では、第2次の学力検査は行わず、共通第1次学力試験，調査書及び健康診断を総合して判定する。
 3. 欠員の補充の方法等は，10月末頃に発表予定の学生募集要項に記載する。

入 学			推薦入学 募集人員 (又は比率)	帰国子女, 社会人の ための特 別の選抜		定員一部留保第2次募集					第2次の 学力検査 等の日程	備 考 〔欠員の補充 の方法等〕
学校長の推薦に基づき, 資料として判定する						第2次 の学力 検査を 課する	実 技 検 査 等			第2次 募集人 員(又 は比率)		
技 検 査 等	小論文 を課す る	その他					実技検査を 課する	面 接 を 行 う	小論文 を 課 する			
面 接 を 行 う	小論文 を 課 する	その他	帰国 子 女	社会人	第2次 の学力 検査を 課する	実技検査を 課する	面 接 を 行 う	小論文 を 課 する	第2次 募集人 員(又 は比率)			
×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	3月5日(日)	(下記参照)
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3月5日(日) 3月6日(月)	
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3月5日(日)	
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
○	○	×	19名以内	○	×	×	×	×	×	×	—	
○	○	×	20名程度	×	○	×	×	×	×	×		
×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	3月5日(日)	
×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	12名		
×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×		
○	○	×	各学科の入学 定員の5%以内	×	×	×	×	×	×	×		

別 表 II

昭和64年度富山大学入学者選抜学力検査実施教科・科目

学部(学科・課程)名 科目 数 出題教科・科目名		教 育 学 部													
		人文学部		小学校教員養成課程		中学校教員養成課程		中学校教員養成課程		中学校教員養成課程		情報教育課程		経済学部 (昼間主コース)	
		出題科目	受験科目数	出題科目	受験科目数	出題科目	受験科目数	出題科目	受験科目数	出題科目	受験科目数	出題科目	受験科目数	出題科目	受験科目数
国 語	国 語 I	◎	2	○	2	○	2		2		2	○	2		2
	国 語 II	◎		○		○						○		○	
数 学	代数・幾何			○	3教科(国語・数学・外国語)のうちから1教科を選択)		2(2教科(国語・外国語)のうちから1教科を選択)	○	2(2教科(数学・外国語)のうちから1教科を選択)		2(2教科(国語・数学・外国語)のうちから1教科を選択)	○	2又は1(2教科(ドイツ語・数学は1科目)のうちから1教科(英語・外国語は2科目)のうちから1教科を選択)		2又は1(2教科(ドイツ語・数学は1科目)のうちから1教科を選択)
	基礎解析		○			○									
	代数・幾何			○				○							
	基礎解析														
	微分・積分														
理 科	確率・統計														
	物 理 学														
	化 学														
外国語	生 物 学														
	地 学														
	英 語 II	○	英語は2その他は1	○	1教科(国語・数学・外国語)のうちから1教科を選択)	○	2(2教科(国語・外国語)のうちから1教科を選択)	○	2(2教科(数学・外国語)のうちから1教科を選択)	○	2(2教科(国語・数学・外国語)のうちから1教科を選択)	○	2又は1(2教科(ドイツ語・数学は1科目)のうちから1教科を選択)	○	2又は1(2教科(ドイツ語・数学は1科目)のうちから1教科を選択)
	英 語 II B	○		○		○									
	ド イ ツ 語	○													
朝 鮮 語	○														
中 国 語	○														
芸術 保健 体育	ロ シ ア 語	○													
	音 楽 実 技			○	1					◎	1 志望専攻の 1科目				
	美 術 実 技			○						◎					
体 育 実 技			○							◎					
小 論 文															
合 計		8	4又は3	9	3	4	2	4	2	1	1	6	2	5	2又は1

備考 1. ◎は必ず受験しなければならない科目を, ○は選択科目を示す。

2. 教育学部の実技検査の内容

(1) 小学校教員養成課程, 養護学校教員養成課程及び幼稚園教員養成課程

音 楽 ① 楽器又は歌唱による自由曲演奏

楽器は和楽器を除く, 管・弦・鍵盤楽器いずれも可

歌唱は音楽 I 程度までの歌曲

② 音楽能力検査

音楽 I の程度までの範囲

美 術 表現力検査(平面及び立体)を行う。

理 学 部										工 学 部						摘 要
数 学 科		物 理 学 科		化 学 科		生 物 学 科		地 球 学 科		電 気 工 学 科		機 械 工 学 科		金 属 工 学 科		
出 題 科 目	受 験 科 目 数	出 題 科 目	受 験 科 目 数	出 題 科 目	受 験 科 目 数	出 題 科 目	受 験 科 目 数	出 題 科 目	受 験 科 目 数	出 題 科 目	受 験 科 目 数	出 題 科 目	受 験 科 目 数	出 題 科 目	受 験 科 目 数	
																同一試験時間内に 解答させる。
◎	2	◎	2	◎	2			○		◎	2	◎	2	◎	2	
◎	4															同一試験時間内に 解答させる。 「確率・統計」の うち統計は除く。
◎																
◎																
◎																
		◎	1	◎	1	○	1	○	1	◎	1	◎	1	○	1	同一試験時間内に 解答させる。
						○		○						○		
						○		○						○		
						○		○						○		
						◎	1									
6	6	3	3	3	3	5	2	8	3	3	3	3	3	4	3	

- 体 育 基礎運動能力について検査する。
- (2) 中学校教員養成課程の音楽，美術及び保健体育専攻
10月末頃発表予定の学生募集要項で発表する。
3. 第2志望の選択
教育学部志願者について
第1志望の受験科目（実技検査を除く）が，他の課程又は専攻の指定する科目と
同じである場合のみ第2志望を認める。
ただし，中学校教員養成課程及び情報教育課程を第1志望とする者は，小学校，
養護学校及び幼稚園教員養成課程を第2志望とすることができない。

富 山 大 学

昭和64年度 共通第1次学力試験の受験を要する教科等

別 表 Ⅲ

学部・学科名	受験を要する教科名等	受験を要する教科名	受験を要する教科数	摘 要	そ の 他	
人 文 部 教 育 学 部 経 済 学 部	部 部 部	国, 社, 数, 理及び外	5		共通第1次学力試験の配点については, 本要項2ページを参照のこと。	
理 学 部	物 理 学 科 化 学 科 生 物 学 科 地 球 学 科	国, 社, 数, 理及び外	5			
工 学 部	数 学 科	国, 数, 理及び外	4			
工 学 部		国, 数, 理及び外	4			

別表 IV-1

推薦入学者の選抜方法

実施学部・ 学科名	経済学部……………経済学科・経営学科・経営法学科	
	昼間主コース	夜間主コース
募集人員	19名以内（定員内）	20名程度（定員内）
選抜期日	昭和63年12月4日（日）	昭和63年12月4日（日）
選抜方法	<p>入学者の選抜は、共通第1次学力試験及び第2次の学力検査を免除し、推薦書、調査書、志願理由書、小論文、面接及び健康診断の結果を総合して判定する。</p> <p>なお、小論文作成のための資料には英文が含まれる。</p>	<p>入学者の選抜は、共通第1次学力試験及び第2次の学力検査を免除し、推薦書、調査書、志願理由書、小論文、面接及び健康診断の結果を総合して判定する。</p>
出願期間	昭和63年11月14日（月） ） 昭和63年11月19日（土）	昭和63年11月14日（月） ） 昭和63年11月19日（土）
出願資格	<p>高等学校の専門教育を主とする学科（いわゆる職業科）を昭和64年3月卒業見込みの者で、次の各号に該当する者</p> <p>(1) 人物、学力、健康において優れ、かつ、勉学意欲が旺盛であり、高等学校長が責任をもって推薦する者</p> <p>(2) 高等学校の最終年次における成績が所属学科の上位10%以内の者</p>	<p>高等学校を昭和64年3月卒業見込みの就職内定者で、人物、学力、健康において優れ、かつ、勉学意欲が旺盛であり、高等学校長が責任をもって推薦する者</p>
その他	推薦人員は1高等学校につき2名以内	

別 表 V - 1

帰 国 子 女 等 の 特 別 選 抜 方 法

実施学部・学科名	人文学部……………人文学科・語学文学科
募 集 人 員	若干名（定員内）
選 抜 期 日	昭和63年12月7日（水）
選 抜 方 法	入学者の選抜は、共通第1次学力試験及び第2次の学力検査を免除し、書類審査、小論文、面接及び健康診断により行う。 なお、小論文及び面接は、いずれも日本語により行う。
出 願 期 間	昭和63年11月14日（月） ） 昭和63年11月19日（土）
出 願 資 格	日本の国籍を有する者で、次の(1)又は(2)のいずれかに該当する者。ただし、渡航理由が保護者の海外勤務等の事情による者に限る。 (1) 外国において学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を昭和62年（1987年）4月1日から昭和64年（1989年）3月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者 ただし、外国において最終の学年を含めて2年以上継続して学校教育を受けていること。 なお、外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなさない。 (2) 外国においてスイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を昭和62年（1987年）及び昭和63年（1988年）に授与された18歳以上の者
そ の 他	

別 表 V - 2

帰 国 子 女 等 の 特 別 選 抜 方 法

実施学部・学科名	経済学部……………経済学科・経営学科・経営法学科 「昼間主コース」
募 集 人 員	若干名（定員内）
選 抜 期 日	昭和63年12月4日（日）
選 抜 方 法	入学者の選抜は、共通第1次学力試験及び第2次の学力検査を免除し、書類審査、小論文、面接及び健康診断の結果を総合して判定する。
出 願 期 間	昭和63年11月14日（月） ↓ 昭和63年11月19日（土）
出 願 資 格	日本の国籍を有する者で、次の(1)又は(2)のいずれかに該当する者 (1) 外国において学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を昭和62年（1987年）4月1日から昭和64年（1989年）3月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者 ただし、外国において最終の学年を含めて2年以上継続して学校教育を受けていること。 なお、外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなさない。 (2) 外国においてスイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を昭和62年（1987年）及び昭和63年（1988年）に授与された18歳以上の者
そ の 他	

別 表 V - 3

帰国子女等の特別選抜方法

実施学部・学科名	理 学 部……………数学科・物理学科・化学科・生物学科・地球科学科
募 集 人 員	各学科若干名（定員内）
選 抜 期 日	昭和63年12月 7 日（水）
選 抜 方 法	入学者の選抜は，共通第 1 次学力試験及び第 2 次の学力検査を免除し，書類審査，小論文，面接及び健康診断により行う。
出 願 期 間	昭和63年11月14日（月） ） 昭和63年11月19日（土）
出 願 資 格	日本の国籍を有し，外国の教育を受けている者で次のいずれかに該当し，昭和64年 3 月31日現在満18歳以上の者 (1) 外国において学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を昭和62年 4 月 1 日から昭和64年 3 月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者。ただし，外国において最終の学年を含めて 2 年以上継続して学校教育を受けていることを必要とする。 なお，外国に設置されたものであっても，日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については，その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなさない。 (2) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を昭和62年及び昭和63年に授与された者
そ の 他	

別 表 VI - 1

社会人等の特別選抜方法

実施学部・学科名	人文学部……………人文学科・語学文学科
募 集 人 員	若干名（定員内）
選 抜 期 日	昭和63年12月7日（水）
選 抜 方 法	<p>入学者の選抜は，共通第1次学力試験を免除し，書類審査，外国語，小論文，面接及び健康診断により行う。</p> <p>なお，外国語は「英語・ドイツ語・朝鮮語・中国語・ロシア語」の中から1科目選択すること。</p>
出 願 期 間	<p>昭和63年11月14日（月）</p> <p>↓</p> <p>昭和63年11月19日（土）</p>
出 願 資 格	<p>昭和64年3月31日までに満23歳に達し，社会人の経験を5年以上有する者で，次のいずれかに該当する者</p> <p>(1) 高等学校を卒業した者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者</p> <p>(3) 大学入学資格検定試験合格者</p> <p>(4) 旧制諸学校の卒業者又は中途退学者で，文部大臣の定めるところによって大学入学資格を有する者</p> <p>ただし，定職をもち，定時制・通信制の高等学校に在学した期間は，社会人の経験期間に含める。</p>
そ の 他	

別 表 VI - 2

社 会 人 等 の 特 別 選 抜 方 法

実施学部・学科名	経済学部……………経済学科・経営学科・経営法学科 「夜間主コース」
募 集 人 員	20名程度（定員内）
選 抜 期 日	昭和63年12月 4日（日）
選 抜 方 法	入学者の選抜は、共通第1次学力試験及び第2次の学力検査を免除し、書類審査、小論文、面接及び健康診断の結果を総合して判定する。
出 願 期 間	昭和63年11月14日（月） ） 昭和63年11月19日（土）
出 願 資 格	大学入学資格を有し、かつ、次の(1)又は(2)のいずれかに該当する者 (1) 勤労者については、高等学校を昭和63年3月以前に卒業した者及びこれに準ずる者又は昭和64年3月に高等学校の定時制又は通信制課程を卒業見込みの者で、人物、学力、健康において優れ、かつ、勉学意欲が旺盛であり、職場長の推薦する者 (2) その他の社会人については、高等学校を卒業した者及びこれに準ずる者で、昭和64年3月31日現在年齢満23歳に達している者で、人物、学力、健康において優れ、かつ、勉学意欲が旺盛であり、出身学校長等の推薦する者
そ の 他	

別 表 VI - 3

社 会 人 等 の 特 別 選 抜 方 法

実施学部・学科名	理 学 部……………生物学科
募 集 人 員	若干名（定員内）
選 抜 期 日	昭和63年12月7日（水）
選 抜 方 法	入学者の選抜は、共通第1次学力試験及び第2次の学力検査を免除し、書類審査、小論文、面接及び健康診断により行う。
出 願 期 間	昭和63年11月14日（月） ） 昭和63年11月19日（土）
出 願 資 格	昭和64年3月31日までに年齢満23歳に達し、社会人の経験を5年以上（注）有する者で、次のいずれかに該当する者 (1) 高等学校を卒業した者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者 (3) 学校教育法施行規則第69条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者 （注） 定時制・通信制及び夜間部等の学校の在学期間は、社会人の経験期間に含める。
そ の 他	

昭和63年度民間等との共同研究一覧

委託機関の名称	研究題目	受入 予定期間	受入 人数	大学の研究代表者 の官職・氏名	歳入(単位千円)			申請 区分
					直接経費	研究料	計	
日華化学(株)	金属材料の熱間鍛造に おける潤滑剤の開発	昭和63年5月 昭和64年3月	1	工 学 部 教 授 時 澤 貢	600	400	1,000	A
白馬プラスチック工業(株)	各種合成樹脂膜による 気体の透過機構に関する研究	昭和63年5月 昭和64年3月	1	工 学 部 教 授 笹 倉 壽 介	800	400	1,200	A
北陸電気工業(株)	半導体磁気センサの研究	昭和63年5月 昭和64年3月	1	工 学 部 教 授 龍 山 智 栄	1,000	400	1,400	A
北陸電気工業(株)	高誘電率セラミック誘 電体を用いたEL表示 素子の研究	昭和63年5月 昭和64年3月	1	工 学 部 教 授 宮 下 和 雄	1,000	400	1,400	A
北 陸 電 力 (株)	酸化物超伝導体の臨界 温度と格子定数に関する研究	昭和63年5月 昭和64年3月	1	教 養 部 教 授 森 克 徳	1,600	400	2,000	A
石川島播磨重工業(株)	精密押し出し加工による ねじれ溝の成形法の研究	昭和63年5月 昭和64年3月	1	工 学 部 教 授 時 澤 貢	1,000	400	1,400	A
立山科学工業(株)	セラミックス薄膜(金 属コーティング用)の 研究	昭和63年5月 昭和64年3月	1	工 学 部 教 授 宮 下 和 雄	1,000	400	1,400	A
立山アルミニウム工業(株)	押し出し材の寸法精度及 び表面品質の向上を 目的とした押し出し ダイスの開発	昭和63年5月 昭和64年3月	1	工 学 部 教 授 時 澤 貢	600	400	1,000	A
(株)イチカワ	インバータを応用した アクティブフィルタに よる波形改善の研究	昭和63年5月 昭和64年3月	1	工 学 部 教 授 藤 田 宏	1,000	400	1,400	A
立山マシン(株)	FAシステムの対話型 シーケンサーのプログ ラム開発	昭和63年6月 昭和64年3月	1	工 学 部 教 授 米 田 政 明	1,000	400	1,400	A
武内プレス工業(株)	アルミ容器の塗膜性能 分析とその評価につ いて	昭和63年6月 昭和64年3月	1	工 学 部 教 授 宇 佐 美 四 郎	400	400	800	B
サンエツ金属(株)	酸化物超伝導体の線材 化に関する研究	昭和63年6月 昭和64年3月	1	地域共同研究センター 助教授 池野 進	400	400	800	B
島田理化工業(株)	有限要素法による振動 系の解析	昭和63年7月 昭和64年3月	1	工 学 部 教 授 加 川 幸 雄	100	400	500	B

人事異動

異動区分	発令年月日	氏 名	異動前の所属官職	異 動 内 容	任命権者
採 用	63. 7. 4	加 藤 隆 司		技術補佐員(経理部主計課)	富山大学長
	"	島 清		"	"
	"	上 野 毅 稔		"	"
	"	彼 谷 年 恵		事務補佐員(経理部経理課)	"
	"	高 城 政 信		技能補佐員(施設課機械操作手)	"
	"	黒 澤 浩 子		事務補佐員(教育学部)	"
	"	杉 本 昭 二		臨時用務員(工学部作業員)	"
昇 任	63. 8. 1	小 島 満	助教授(経済学部)	教授(経済学部)	文 部 大 臣
退 職	63. 7. 24	本 田 善 彦	事務補佐員(附属図書館)	昭和63年7月23日限り退職した	富山大学長
	"	藤 木 彌三郎	"	"	"
	63. 8. 1	坂 林 梅 松	臨時用務員(経済学部作業員)	昭和63年7月31日限り退職した	"
	"	金 田 千 果	教務補佐員(教養部)	"	"
辞 職	63. 7. 31	遠 藤 江里子	事務補佐員(附属図書館)	辞職を承認する	"

学 内 諸 報

海 外 渡 航 者

渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡 航 先 国	目 的	期 間
外 国 出 張	教育学部	教 授	永野 弘	連合王国	第12回国際低温工学会議に出席	63. 7. 10
						63. 7. 17
	理学部	助教授	平山 実	ドイツ連邦共和国 スイス	第24回高エネルギー物理学国際会議出席及び資料収集	63. 7. 31
						63. 8. 18
工学部	助 手	高橋 隆一	カナダ	第4回磁気および磁性材料・応用磁気合同国際会議に出席並びに研究資料の収集	63. 7. 10	
					63. 7. 18	
"	"	助教授	松木 賢司	アメリカ合衆国	超塑性と超塑性成形国際会議に出席及び研究資料の収集	63. 7. 30
						63. 8. 11

海外研修旅行	教育学部	助 手	丸山 茂徳	アメリカ合衆国 中華人民共和国	広域変成岩の共同研究と中国 の地質調査	63. 7. 1 } 63. 10. 31
	"	助教授	丹羽 洋介	イタリア スイス	壁画技法の研究	63. 7. 7 } 63. 8. 10
	"	"	長谷川 総一郎	ハンガリー	ハンガリー国際彫刻展に出席 及びハンガリーの美術教育, 教育事情の視察	63. 7. 31 } 63. 8. 16
	経済学部	"	菊田 健作	アメリカ合衆国	ゲーム理論に関する会議に参 加及び研究調査	63. 7. 5 } 63. 7. 18
	理 学 部	"	松島 房和	フランス	第11回 原子物理学国際会議 (ICAPXI)において研究成果 発表のため	63. 7. 2 } 63. 7. 11
	"	助 手	酒井 英男	アメリカ合衆国	北米における古地磁気強度の 研究のため	63. 7. 11 } 64. 5. 10
	"	教 授	佐藤 清雄	ドイツ連邦共和国 ベルギー フランス	「磁気に関する国際会議」他 において研究発表及び研究資 料の収集	63. 7. 14 } 63. 7. 29
	"	助教授	庄子 仁	アメリカ合衆国	ニューヨーク州立大学バッ ファロー校の水コア研究所に おいてコア解析の協同研究 を行う	63. 7. 14 } 63. 9. 16
	教 養 部	教 授	宇尾野逸作	アメリカ合衆国	「コンテクストの視点からみ た文化の諸要素と言語の相 関」の研究資料収集のため	63. 7. 2 } 63. 7. 31
	"	"	藤井 昭二	中華人民共和国	中国大陸と日本島弧の海水準 変化と第四系列の比較研究の ため	63. 7. 10 } 63. 7. 24
	"	"	塚崎 幹夫	フランス ドイツ連邦共和国 連合王国	ロジェ・カイヨワの「美の全 般に関する美学」(1962年)に ついての研究調査と資料収集	63. 7. 10 } 63. 8. 1
	"	助教授	石川 義和	ドイツ連邦共和国 ベルギー フランス	「結晶場と重いフェルミオン 物理に関する第6回国際会 議」において研究発表及び研 究資料の収集	63. 7. 14 } 63. 7. 29

学位取得者

取得者 工学部 助手 春山義夫

学位論文名 スラスト軸受の動特性に及ぼす潤滑流体
の慣性力の影響に関する研究

学位の種類 工学博士(京都大学)

取得年月日 昭和63年7月23日

昭和63年度文部省北陸地区共同事業体育大会

この大会は、職員の健康の増進と相互の親睦を深めるため毎年行われているもので、今年度は本学が当番校として去る7月29日(金)に開催された。

競技種目は、バレーボール(会場：本学第一及び第三体育館)とボウリング(会場：トヤマゴールデンボウル)で、13機関 300名が参加して行われた。

本学からは、バレーボール2チーム・ボウリング4チームが参加し、バレーボールの部で見事Aチームが優勝を飾った。

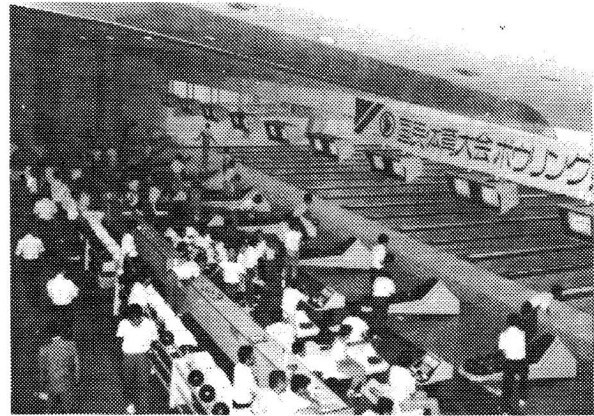
なお、競技結果は次のとおりです。

バレーボール

- 優 勝 富山大学Aチーム
- 準優勝 金沢大学Aチーム
- 3 位 福井医科大学Aチーム
福井医科大学Bチーム

ボウリング

- 優 勝 富山医科薬科大学Cチーム
- 準優勝 福井大学Cチーム
- 3 位 富山商船高等専門学校Aチーム
- 4 位 金沢大学Cチーム
- 5 位 金沢大学Dチーム



学内レクリエーション (ソフトボール大会)

本学レクリエーション委員会体育部会ソフトボール班主催による昭和63年度部局対抗ソフトボール大会が、6月13日(月)から7月22日(金)までの間富山大学グラウンドで実施された。

なお、成績は次のとおりです。

- 優勝 工学部
- 次勝 人文学部

<予選リーグ戦>

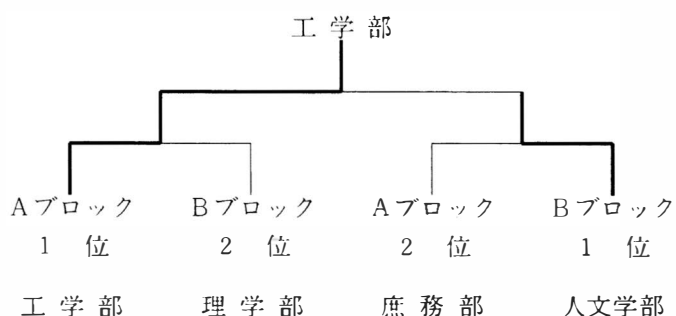
Aブロック

		A	B	C	D	勝	敗
A	学 生 部 施 設 課	○	×	×	1 2	勝	敗
B	経 済 学 部 附 属 函 書 館	×	○	×	0 3	勝	敗
C	庶 務 部	○	○	○	2 1	勝	敗
D	工 学 部	●	○	●	3 0	勝	敗

Bブロック

		1	2	3	4	5	勝	敗
1	教 養 部	○	×	○	○	×	0 2	勝 敗
2	理 学 部	○	○	○	○	×	3 1	勝 敗
3	教 育 学 部	○	×	○	○	×	1 2	勝 敗
4	経 理 部	○	×	×	○	×	0 3	勝 敗
5	人 文 学 部	○	○	○	○	○	4 0	勝 敗

＜決勝トーナメント＞



学内レクリエーション〈釣大会〉

本学レクリエーション委員会倶楽部会釣班主催による昭和63年度学内釣大会が、去る7月30日(土)午後2時30分から富山新港東防波堤において実施された。

大会は、晴天のもと11名の参加者により競われ、釣り上げた魚（シロギス）2匹の合計長により入賞が決定された。

成績は次のとおりです。

入賞者

- | | |
|----|------------|
| 一位 | 高田 正道（経理部） |
| 二位 | 川崎 博幸（工学部） |
| 三位 | 田中 祥男（施設課） |

インドネシア国立ハサヌディン大学長の来学

富山インドネシア友好協会の招きにより来県されたインドネシア国立ハサヌディン大学ファウルディン学長一行が、去る7月13日(水)大井学長を表敬訪問された。席上、本学との学術交流推進等について意見交換が行われた。



学長室で懇談する両学長

中国秦皇島市友好都市工作団の来学

富山市と姉妹都市の友好提携をされている中国秦皇島市の友好都市工作団が富山市を友好訪問されたのを機に、去る7月20日(水)王 増林団長外5名の一行が大井学長を表敬訪問された。席上、学長から本学の概要が説明されるとともに王団長から日本語教員派遣の依頼がある等和やかな懇談の後、学内の教育学部附属教育実践研究指導センター、生協、附属図書館を見学された。



附属図書館を見学する一行

職員 消 息

《電話番号変更》

人文学部・理学部

文部技官 田村 与一

《住所変更》

教育学部

助 教 授 室橋 春光

主 要 行 事

本 部

- 7月1日 事務改善委員会第3部会
- 5日 人事関係事項説明聴取（於：文部省）
入学試験管理委員会専門委員会
- 7日 金沢大学辰口共同研修センター運営協議会
（於：金沢大学）
部局長懇談会
- 8日 部課長会議
第6回学寮補導委員会
- 10日 第40回北陸地区国立大学体育大会開会式
（於：福井大学）
- 12日 第5回評議会
第1回学務専門委員会
第5回入学試験管理委員会・第5回入学者
選抜方法研究委員会の合同委員会
第38回北陸三県大学学生交歓芸術祭運営委
員会
- 13日 ハサヌディン大学学長表敬訪問
- 13~14日 昭和64年度歳出概算要求説明（於：文部省）
- 13~15日 昭和63年度厚生補導研究協議会
（於：国立教育文化会館 筑波分館）
- 14日 人事関係事項懇談（於：文部省）
学長記者会見
昭和64年度国立学校施設整備費概算要求説

明（於：文部省）

- 15日 庶務部安全パトロール
- 20日 秦皇島市友好都市工作団表敬訪問
昭和63年度第2回富山大学廃液処理施設運
営委員会
- 21日 部局長懇談会
第2回学務関係係長会議
- 22日 第6回評議会
第1回レクリエーション委員会
- 25日 係長連絡会
- 26日 第1回動物実験指針検討委員会
- 27日 第3回事務協議会
- 29日 昭和63年度北陸地区共同事業体育大会
- 30日 学内釣大会

人 文 学 部

- 7月1日 2年次学生コース別オリエンテーション(第3日)
事務連絡会
- 6日 学部教務委員会
紀要委員会
- 8日 補導委員会
- 13日 予算委員会
学部入学者選抜方法検討委員会
- 19日 理学部との合同教育実習委員会

補導委員会
 20日 大学院委員打合せ
 教授会
 人事教授会
 人文科学研究科委員会
 22日 事務連絡会
 26日 授業終了
 27日 特定研究に関する打合せ会

教育学部

7月1日 学部カリキュラム委員会
 6日 情報教育課程運営委員会
 学部補導委員会
 13日 人事教授会
 学部予算委員会
 14日 情報教育課程運営委員会
 15日 学部教務委員会
 学部教務補導合同委員会
 18日 附属幼稚園第1学期終業式
 19日 学部図書委員会
 20日 特別昇給検討委員会
 教授会
 人事教授会
 附属中学校、附属養護学校第1学期終業式
 22日 学部入学者選抜方法検討委員会
 23日 附属小学校第1学期終業式
 25日 情報教育課程運営委員会・同人事検討委員会
 会の合同委員会
 26日 学部予算委員会

経済学部

7月5日 夜間主コース運営委員会
 6日 経済学部長候補者選挙管理委員会
 7日 学部補導委員会
 11日 財務委員会
 夜間主コース(2年)授業終了
 12日 学部図書委員会
 13日 学部入学方法検討委員会
 学部教務委員会
 人事教授会

日本海経済研究所所員会議
 教授会
 15日 経済学部長候補者選挙管理委員会
 16日 授業終了
 19日 コンピュータ管理運営委員会

理学部

7月1日 事務連絡会
 7日 学部教務委員会
 11日 学部入試改善委員会
 13日 授業終了
 14日 学科主任会議
 学科主任・学部教務委員会合同会議
 19日 人文学部との合同教育実習委員会
 教授会
 人事教授会
 22日 事務連絡会

工学部

7月1日 大門高校PTA・教職員大学訪問
 6日 教官要覧編集委員会
 学科主任会議・学部改革検討委員会合同会議
 9日 教授会
 12日 紀要委員会
 13日 学科主任会議
 選考委員会
 14日 事故対策委員会、学科主任会議・学部改革
 検討委員会合同会議
 18日 学部教務委員会
 入学試験検討委員会
 入学試験検討委員会専門部会
 19日 入学試験検討委員会
 学部図書委員会
 20日 教授会
 専任教授会
 21日 北陸信越工業教育協会富山県支部総会
 25日 学科主任会議・学部改革検討委員会合同
 会議
 28日 係長連絡会

教 養 部

- 7月4日 特昇その他給与に関する委員会
- 6日 教務委員会
人事教授会
教授会
- 12日 夜間主コース夏季休業（～8月31日まで）
- 13日 視聴覚教育委員会
補導委員会
将来計画委員会
- 15日 夏季休業（～8月31日まで）
- 18日 予算委員会

附属図書館

- 7月7日 第3回商議会
- 18日 係長事務打合せ会
- 21日 図書館業務電算化ワーキンググループ打合せ会
- 22日 消防設備点検
- 25～29日 昭和63年度目録システム講習会（地域講習会）
（於：金沢大学附属図書館
富山大学附属図書館）

29日 係長事務打合せ会

保健管理センター

- 7月5日 眼科健康相談
- 6日 耳鼻科健康相談
- 7日 第1回保健管理センター運営委員会

トリチウム科学センター

- 7月15日 国家公務員安全週間にとりあう安全パトロール
- 20日 昭和63年度第2回トリチウム科学センター運営委員会

地域共同研究センター

- 7月
- 15～16日 産学官交流 TOYAMA テクノフォーラム '88



編集 富山大学庶務部庶務課
富山市五福3190
印刷所 あけぼの企画株式会社
富山市住吉町1丁目5-18
電話 (24) 1755代